

## ■プログラム名

大学の世界展開力強化事業

ASEAN 地域発展のための次世代国際協力リーダー養成プログラム

## ■現状及び展望

### ● 学生交流活動の進捗状況

本プログラム長期・短期派遣受入活動は予定通りに実施されている。短期受入活動において、経済・経営専攻の学生に対して中部日本モノづくりの特徴を持つグローバル企業（トヨタ自動車、デンソー等）との協力のもと、社員を交えてグループ討議、価値創造などを含むセミナーを提供した。また、法学専攻の学生には企業（トヨタ自動車）、名古屋地方裁判所や岐阜刑務所などの法律機関訪問、国際的に活躍する研究者（弁護士を含む）を迎えた集中講義、ホームステイプログラムなどを提供した。短期派遣活動において、開発専攻の学生に対して、事前講義、事前研修、研究計画の作成、2週間のカンボジアでの現地調査などを含む海外実地研修を実施した。長期派遣・受入学生は自分の専門分野に相応しい授業を履修し、それぞれの文化を送受信しながら留学生活を送っている。相手校の要請にできるだけ沿うようなインターンシップも実施予定である。

### ● 質保証などの構築状況

提携大学に広く使われている ECTS に対応する単位互換、成績評価のシステムを整備している。また、経済、開発、法・政治制度、社会などの諸分野で共通認識を持つ国際協力人材を育成するため、ASEAN と日本の地域発展に関する共同・共通教育プログラム（名大側が提供するもの）を構築しつつある。さらに、本プログラム外部委員指導を受けて、質保証に関する参加者の異文化理解力・社会人基礎力の評価基準なども整備している。

### ● これからの活動準備

第2回運営委員会議および質保証委員会議を2014年3月13日に開催予定である。提携大学からの参加者と共に、本プログラムをより充実したものにするための課題や問題点などを討議し、改善できるように努力したいと考える。また、本プログラムの教育および学生交流の成果や学生の成長の発信を目的に、同日、学生フォーラムも開催予定である。

## ■問題点及び制度上の改正希望

### ● 学生支援資金の活用

ほとんどの派遣大学には寮が完備されておらず、宿泊費用の支払いが出張者の立替払いまたは業者払い対応となっている。途上国であるため、銀行口座の利用はまだ一般的ではなく、送金先の環境不備であることも多いため、宿泊費用を直接に学生に支払ってもよい形になるよう制度の改訂を検討していただきたい。

### ● JASSO 奨学金の支給回数

JASSO への奨学金支給申請が最大4か月分しか一度にできないため手続きが煩雑である。せめて6か月までできるよう制度を改訂していただきたい。

## ■学生交流数

交流方向	平成23年度	平成24年度	平成25年度(※)
受入	0	0	48
派遣	0	11	52

(※) 予定含む